

ファッションと

東アジアの近代

りゅうけんき にしむら まさひこ もりおか ゆうき

劉建輝・西村真彦・森岡優紀編

2025年3月刊行



禪(ふんどし)、セーラー服、チヨゴリ、旗袍(チーパオ)。華やかで個性豊かなファッションには国際交流の歴史が織り込まれている！近代東アジア三国の社会を服飾と装飾から解する、注目の書。

▼A5判・並製カバー・240頁・定価三、八五〇円

【目次】

はじめに

鼎談「世界に翔く日本のファッション」

——過去から未来へ——(コシノヒロコ、井上章一、劉建輝)

《日本》

1 禪の近代——ジェンダー分析への新視点

(井上章一〔国際日本文化研究センター〕)

2 セーラー服の普及と生活文化

——女子生徒の持ち物と身体感覚の変化

(刑部芳則〔日本大学〕)

3 「誰」がモダンガールか？

——モダンガールのリアリティ、可視化、そして、「モダンガール写真」

(斎藤光〔京都精華大学・マンガ学部〕)

《韓国》

4 洋服の導入と大韓帝国の服飾政策

(李克美〔韓京国立大学〕)

5 近代女性のチヨゴリの形態美と記事の変遷

(崔銀水〔国立民俗博物館学芸研究官〕)

《中国》

6 近代日本と中国の装いの交流

——制服、ファッションをめぐる

(劉玲芳〔東京大学東洋文化研究所・学振PD〕)

7 近代上海服装史

(下向陽〔東華大学〕)

8 国際化の観点から見る中国旗袍及びその流行の変遷

(劉瑜〔東華大学〕)

9 清朝宮廷旧藏品から見るソロン毛皮文化の変遷

(多麗梅〔故宮博物院〕)

◆著者略歴

劉建輝(りゅうけんき)

国際日本文化研究センター教授、総合研究大学院大学教授。

一九九〇年神戸大学大学院文化科学研究科博士課程修了、文学博士号取得。専門は日中文化交流史。主な著書に、『増補・魔都上海——日本知識人の「近代」体験』(ちくま学芸文庫、二〇一〇年)、『日中二百年——支え合う近代』(武田ランダムハウスジャパン、二〇一二年)、『満洲』という遺産——その経験と教訓』(ミネルヴァ書房、二〇一二年)、『絵葉書にみる日本近代美術100選』(法蔵館、二〇一四年)など。

西村真彦(にしむらまさひこ)

国際日本文化研究センター機関研究員

森岡優紀(もりおかゆうき)

国際日本文化研究センター機関研究員

注文書	
(書店印)	
様	冊
ご担当	
法蔵館 定価三、八五〇円	
劉建輝・西村真彦・森岡優紀編	
ファッションと	
東アジアの近代	
ISBN: 978-4-8318-5656-2 C1030	
お住所	ご住所
お電話	お名前

ご注文はFAX:075-371-0458

法蔵館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458
http://www.hozokan.co.jp info@hozokan.co.jp

社会科学